

* 竹田市感染症情報(竹田市独自集計) *

令和7年第16週 (4月14日～4月20日)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎について

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、A群溶血性レンサ球菌という細菌が原因で起こるのど(咽頭)の感染症です。咳やくしゃみによる飛沫感染や接触感染でひろがっていきます。2～5日の潜伏期の後、急な発熱や咽頭痛などが起こります。のどにいる菌をしっかり除去するために、医師に処方された薬は、症状が軽くなっても最後まで飲み切ることが大切です。予防には、手洗いやうがいを行うことやタオルの共用を避けることがあります。



県内で麻しんの報告がありました

今週、臼杵市内の医療機関から麻しんの報告が1件ありました。日本全体では、2025年1月から第15週までに全部で78名の報告があり、昨年同時期の報告数21名と比較し、今年は報告数が多い状況です。

麻しんは、感染力が非常に強く、麻しんウイルスに感染することで引き起こされます。感染経路は、空気感染、飛沫感染、接触感染で、10～12日の潜伏期のあと、発熱、せき、全身性の発しん、結膜充血等の症状が出現します。麻しんに対する免疫がない方が患者さんと接触すると、ほとんどの方が麻しんにかかります。麻しん患者と接触した場合、接触後最大21日間の健康観察が必要です。

麻しんは空気感染するため、手洗いやうがいは防げません。予防接種によってあらかじめ免疫を獲得しておくことが最も有効な予防方法です。定期予防接種(第1期:1歳児、第2期:小学校入学前の1年間の幼児)がまだの方は、予防接種を受けましょう。

また、海外へ渡航する前は、自分の予防接種歴を確認し、接種を受けていない場合は予防接種を受けることをご検討ください。

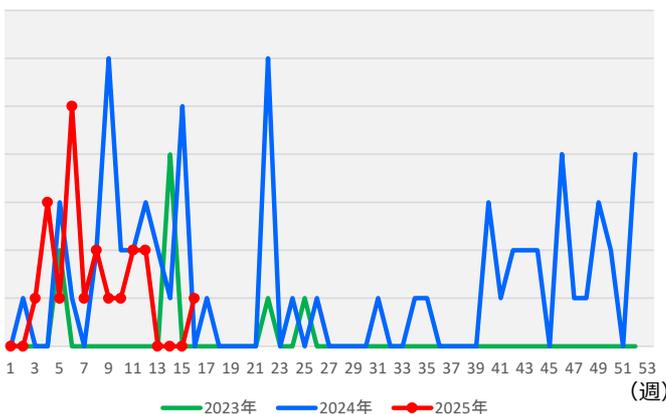
もしも麻しんを疑う症状がある場合は、事前に医療機関へ連絡してから指示に従って受診しましょう。その際は、周囲に感染を広げないように公共の交通機関を利用を避けてください。

(第16週)

(調査医療機関8か所の総患者数：ただし1医療機関は休診中)

疾患名 年齢	インフルエンザ			新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結核熱(プール熱)	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘(みずぼうそう)	手足口病	伝染性紅斑(リンゴ病)	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	マイコプラズマ肺炎	麻しん(全数報告)	風しん(全数報告)	百日咳(全数報告)	つつが虫病(全数報告)
	A型	B型	不明																
0歳																			
1～3歳																			
4～6歳																			
7～9歳								1											
10～14歳							1												
15～19歳								1											
20歳以上				4				4											
今週				4			1	6											
70歳以上(再掲)				4															
先週	1	1		8		1		6											

(人) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎竹田市7医療機関総数



(人) 感染性胃腸炎竹田市7医療機関総数

